

正誤表 (2025 年 10 月現在・第 1 刷用)

『公認心理師・臨床心理士大学院対策 鉄則 10&キーワード 30 心理統計編 第 2 版』
におきまして以下の誤記載がありました。心よりお詫び申し上げます。

ページ番号の後ろの数字 (20■/○/△) は更新日です。

p.50 (2025/4/24) 表 1 のすぐ上の行

(誤) 介入法 X の実施前で「5 点」だった人は「2 人」とわかります。

(正) 介入法 X の実施前で「15 点」だった人は「2 人」とわかります。

p.56 (2024/10/10) 第 1 段落

(誤) 同様に、学習法 1 の女性の中央値を求めると 6.5、学習法 2 の女性の中央値を求めると 9.5 となります。

(正) 同様に、介入法 Y の実施前の中央値を求めると 15、介入法 Y の実施後の中央値を求めると 17 となります。

p.58 (2025/10/22) ① 表 2 の数値を以下のように修正。

	介入法 X		介入法 Y	
	前	後	前	後
平均値	16.5	19.4	15.3	16.9
中央値	16.5	19.5	15	17
最頻値	16, 17	20	14, 15	17

②問 2 にある 4 つのグラフについて、横軸の数字 (3, 4, 5・・・10) を
すべて (13, 14, 15・・・20) と訂正。(10 ずつ増やす)

p.75 (2024/10/10) 5 行目

(誤)「否定的評価を恐れることにより(原因)、回避行動や不安感が引き起こされる(結果)」

(正) インターネットを頻繁に利用することにより(原因), 他者を軽視するようになる(結果)

p.88 (2024/10/10) 下から 4 行目

(誤) よって、例題 5 の (正) よって、例題 6 の

p.94 (2024/10/10) 下から 5, 6 行目

(誤) …算出します。次ページの図 2 のように算出すると、その確率は 6.25% となります¹。

(正) …算出します。今回は問題文に示されている通り、その確率は 6.25% です。この確率は、次ページの図 2 のように求めることができます¹。

p127 (2024/10/10) 下から 3 行目

(誤) 性差の F 値も (正) 介入法の F 値も